

私たちの命をつなぐ 救命救急を学ぶ「救急車両展示」

9月9日

9月9日(火)「救急の日」に、救急について知ってもらおうと、宇和島消防署が「救急車両展示」をきさいや広場にて行いました。

会場では、さまざまな医療器具や消火用具がコンパクトに搭載された救急車と消防車の車内を、来場者はゆっくりと見学することができました。

また救命コーナーでは、AEDの使用方法や心肺蘇生法の重要性について救急救命士から説明があり、実際に体験する人で賑わいました。

市内と北宇和郡を管轄とする宇和島消防では、年間約5200件(平成25年中)、1日平均14件の出



場件数があり、年々増加傾向にあります。「急を要しない場合でも救急車を呼んでしまうと、重症者の対応が遅れます。尊い命を救うために救急車の適正利用をお願いします。」と呼びかけました。

OMACHI体操 イチ、ニ、サン、シ♪

7月26日
～8月30日

健康づくりとまちづくりを目的に、きさいやロード(恵美須町商店街)にて「OMACHI みんなでラジオ体操」が実施されました。

この企画は、地域住民が主体的にまちの活性化を考える「おまち会議」から生まれたもので、期間中は毎朝8時30分から開始されました。

初日の7月26日(土)には商店主や夏休み中の児童、学生ら約150人が参加し、皆で体を動かしながらさわやかに朝のひとときを過ごしました。

約1ヵ月間の開催期間中には、のべ2618人の参加があり、皆勤賞の参加者には協賛団体などから賞品が進呈されました。



市内最高齢者へ 市長が訪問、祝状・記念品贈呈

9月16日



9月16日(火)、市内の男性・女性の最高齢者を石橋市長が訪問し、その長寿を祝して祝状と記念品を贈りました。

女性最高齢者(満108歳)で、市内最高齢者でもある、猪石 初衛さん(愛宕町)は、少し横になる時間が多くなってきたそうですが、とても元気に過ごされていました。

男性最高齢者(満103歳)は板倉 保長さん(吉田町奥浦)です。祝状を贈呈されると、「皆さんが良くしてくれるので、元気に過ごさせていただきます。」と感謝の言葉を述べられました。

敬老の日を迎えた皆さん、いつまでも元気にお過ごしください。



引き継がれる伝統 真剣の勇壮な舞を披露

9月1日

400年の伝統を持つ天神花踊りが、保存会の皆さんによって、天満神社(三間町曾根)の境内で行われました。

神事と「浦安の舞」が奉納された後、紺の法被姿の踊り手がシデに飾られた真剣などを手に、古風な田歌と太鼓に合わせて次つぎと勇壮な舞を披露し、見物者からは拍手が送られていました。

今年は、あいにく雨天の中での開催となりましたが、保存会の皆さんの熱い思いが天に届いたのか、花踊りのころには晴れ間も見え、今年も県指定無形民俗文化財でもある三間町の伝統



を引き継ぐことができました。